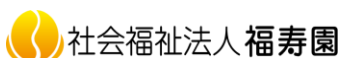


介護人材育成と多角化・多機能化の事業展開

～介護だけじゃない、学べるのは多様性と人間性～



学校紹介

※学校名



田原福祉グローバル専門学校

Tahara Global College of Welfare

旧 田原市立田原福祉専門学校 2021年4月 民営化しリニューアル

※運営法人



社会福祉法人 福寿園

愛知県内で21の福祉施設等を運営

※所在地



田原市



※学校特色

1

たつぷくオリジナル！
安心の学費と
特待生制度

2年で約

150万円

田原市も学費をバックアップ
奨学金の活用で実質負担0円も可能

2

高い国家試験合格率◎



3

全員希望の職場へ

就職・進学率100%

(令和5年度実績)

令和6年度介護福祉士国家試験

日本人学生：合格率100%
(7年連続100%達成)

留学生：合格率78.8%
合算：合格率91.3%

～介護だけじゃない、学べるのは多様性と人間性～





専門学校経営移管の背景と課題

※経営移管の背景

○平成8年に田原市立田原福祉専門学校として開講するが、平成16年頃から学生数の減少がみられ、平成20年には定員80名から定員40名に縮小するも、その後も学生確保に苦慮。田原市での経営・運営が困難となり福寿園へ経営移管の申し出があり、令和3年4月に経営移管することとなる。

※経営移管する上での課題

- 専門学校本体が大幅な収支赤字であったため、学生確保を含め
どのように運営を継続して経営改善をしていくか。
- 専門学校本体だけでは赤字解消はできないため、学校運営に附随する事業を
検討しなければならないが、どのような事業を行うのか。



専門学校経営移管後の事業体制

経営移管後は、専門学校本体事業と研修事業はそのまま継続し、新たに学食カフェをオープンする。

※専門学校事業 介護福祉学科
学科 (昼間 2年課程 定員40名)

※専門学校以外
附帯事業 学食カフェCafé2410 (令和3年4月新規事業)



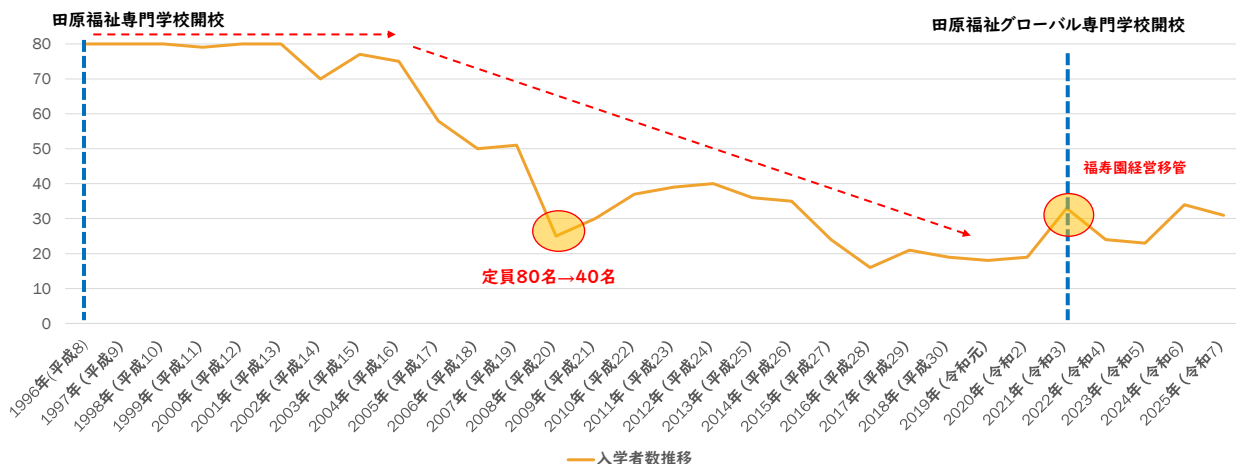
実務者研修 (移管前からの継続事業)
初任者研修 (移管前からの継続事業)
地域貢献連携事業 (移管前からの継続事業)
(介護入門講座・介護人材資質向上研修)





学生数の現状

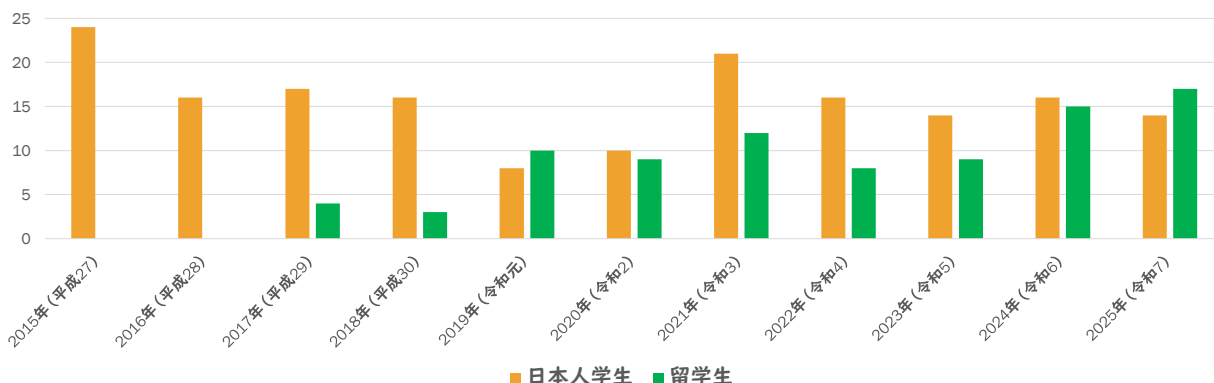
※**学生数推移** 平成16年から学生数は右肩下がり。学生数20名を下回る年度もあり学生確保は年々厳しくなっている。



学生数確保のための積極的な留学生の受入れ

※**日本人学生数と留学生数の推移**

日本人学生確保が難しく、減少し学生数が確保できない現状を外国人留学生を積極的に受入れることで、一定数の学生確保に繋げる。





経営移管前から継続事業のPR強化

※実務者研修



※初任者研修



※地域貢献連携事業 (介護入門講座)



※地域貢献連携事業 (介護人材資質向上研修)



附帯事業の開設 (R3年4月開設)

※学食Café2910

NYカフェスタイルの学食



経営移管時に学生から希望があった学食カフェをオープンして、学生だけでなく地域住民の方々にも幅広く利用してもらえるようにカフェスタイルとした。

※近隣高校とコラボ

近隣の高校の生徒にも福祉の専門学校を身近に感じてもらうように学食カフェのエプロン作成やスイーツ考案など、高校とのコラボを行う。





学食カフェと高校コラボの波及効果

※コラボしている高校の購買へ参入

エプロン作成やスイーツ考案を毎年行ってもらっている高校から購買への参入依頼をもらう。

高校との関わりが身近になり、進路指導の先生や3年生担任とも自然と関わりが増えて、専門学校としてのメリットが出てきた。



※コラボする高校が増えた

他校からも学食カフェとのコラボ依頼があり、高校生朝ごはんプロジェクトとして高校生が考案した朝食レシピを学食カフェのモーニングで食べれる企画を新たに実施した。



新規附帯事業の開設（R3年7月開設）

※放課後等デイサービスの開設

赤字解消として附帯事業の一環で、障がい事業の放課後等デイサービスを開設する。



本校の学生は、授業後にアルバイトすることができる。障がい児童や障害に興味のある学生は学生時代から学ぶことができる。

令和6年度実績

1日平均利用者数 9.6名

年間平均利用率 96.5%



利用定員 10名

営業日 月曜～金曜日

提供時間 14:30～18:00（平日）

9:00～16:30（学校休業日）





日本語学科開設（R4年4月開設）

※留学生の日本語能力の質の確保

介護福祉学科の学生確保と留学生の日本語能力の質を確保、維持していくために日本語学科を設立。

日本語学科から介護福祉学科へ進学するコースと、卒業後に特定技能として働く就職コースの2コース（それぞれ定員20名）あり、留学生も現地で日本で介護士を目指すことを目的として募集し、面接のうえ入学している。

そのため本校にいる留学生は介護福祉士になることを目的としている留学生のみであり、目的が介護に特化しているのが特徴である。



留学生の出身と出身国の変化

※留学生出身国

	介護福祉学科 2年生	介護福祉学科 1年生	日本語学科 1年6か月コース	日本語学科 1年コース	日本語学科 6か月コース (R7.10入学)	日本語学科 1年6か月コース (R7.10入学)	計
フィリピン	5人	0人	0人	0人	0人	0人	5人
ベトナム	2人	3人	0人	0人	2人	0人	7人
インドネシア	2人	7人	8人	6人	0人	10人	33人
ミャンマー	6人	7人	7人	0人	10人	4人	34人
ネパール	0人	0人	0人	2人	0人	6人	8人
計	15人	17人	15人	8人	12人	20人	87人

フィリピン、ベトナムが以前は中心だったが、インドネシア、ミャンマーが中心となり新たにネパールからの受け入れも始め今後も新しい国からの受け入れも検討している。





留学生の日本語レベル

※留学生の日本語レベル

進学コースは卒業までにN2、就職コースはN3取得を目標をしており、高い日本語能力を身に付けれるように教育している。

レベル	認定の目安	1年コース	6か月コース	1年6か月コース
N1	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。			
N2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。	卒業時	卒業時	
N3	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		入学時	卒業時
N4	基本的な日本語を理解することができる。	入学時		
N5	基本的な日本語をある程度理解することができる。			入学時



日本語学科の波及効果と登録支援機関との連携

※出張日本語教室

※外国人介護人材対策

一般企業で働く外国人向けに出張授業や外国人介護人材のための国家試験対策や日本語教室など、日本語学科の教員が働く外国人をサポートしている。

※登録支援機関との連携

卒業した留学生の就職サポートを福寿園が登録支援機関として支援しており、連携して卒業後も日本語授業などでバックアップしている。

企業で働く外国人のための

日本語教室

田原福祉グローバル専門学校の日本語学科の専門講師が直接指導します。

最適な個別指導 充実の指導実績 自社だけの日本語教室

授業日数や時間、受講生の能力に応じたカリキュラムで貴社に合わせて働く外国人をサポートします！

授業料 3,500円/時間（税込）

対象者：技能実習生や特定技能者など日本で働く外国人が対象

授業：通学・オンライン・派遣授業
派遣授業については貴社と学校の距離により価格

仕事：仕事の日本語、漢字、JLPT対策
目標とレベルに応じたカリキュラム

クラス人数：1名～4名まで（1クラス）
4名以上の場合は応相談

田原福祉グローバル専門学校
Tahara Global College of Welfare
愛知県田原市田原町中島路11番地1
TEL.0531-22-3939 FAX.0531-22-7340
E-mail: info@tgcoe.jp

外国人介護人材のための講座

介護福祉士国家試験受験対策講座

2026年1月（第38回）または2027年1月（第39回）受験予定者対象

日本で長く働くために必要な「介護福祉士」国家試験の合格を目指して、同じ目的の仲間と一緒に勉強しましょう！

1 準備プログラム 2 強化プログラム 3 直前プログラム

すべて水曜日 すべて水曜日 曜日にご注意ください

①7月 9日 ②9月 10日 ③12月 3日※
② 23日 ④ 24日 ④12月18日※
③8月 6日 ④10月 8日 ③1月19日※
④ 20日 ④11月 5日 ④ 20日※

参加費：20,000円 参加費：20,000円 参加費：20,000円

※参加費は、お日にお支払い下さい。前座・テキスト代が別途です。

全プログラム受講で、55,000円(5,000円引) & テキスト代無料！

実施時間 10:00-16:00 講座で勉強をすすめていくためには、JLPT N3程度の日本語能力が必要です

お申込みは別紙の申込フォームに記入の上、**申込期限：6/30（月）**
FAXにてお申込み下さい。 **FAX：0562-36-1168**

TEL 0562-36-1168 研修会場：徳島福祉総合大学田原校/愛知県田原市大田町庄之崎33
社会福祉法人 福寿園 お問い合わせ：0562-36-1168 担当：丸、中川



地域ニーズに応じて新規事業開設（R4年4月開設）

※放課後児童クラブの開設

働く親御さん達から市営の児童クラブでは遅くまで働けないなど困っている地域ニーズがあり、田原市で初めての民間の児童クラブを本校内に開設する。

民間ならではの独自サービスを行い、市営の児童クラブとの差別化を図り、運営をしている。

令和6年度実績

1日平均利用者数 44.7名

年間平均利用率 99.3%

たっぷく児童クラブ

利用定員 45名

営業日 月曜～金曜日

民間ならではの多様なサービスがあります

教室 広いホールで思いきり遊び学ぶことができます	冷暖房完備 安心 おいしい	昼食 隣接カフェの手作り昼食なので安心です	夕食 延長利用申込みのご希望者には夕食もご用意できます
時間 通常 8時～18時30分 延長（平日・小学校休校日）（別途料金） 早朝 7時30分～8時 タラ 18時30分～19時	楽しい長時間 習い事 学室中に習い事も！ 専門講師による習い事ができます（別途申込み） 書き方/英会話/ダンス/プログラミングなど	夏休み企画 さまざまな体験や交流企画で日常では学べない学習を企画します	楽しい学習 送迎車でお迎えor引率 ●豊満小学校/衣笠小学校/神戸小学校にお迎えに行きます ●中那小学校クラブ職員が引率します（送歩引率） （どちらも平日のみです。小学校休校日はご家族による送迎をお願いします）



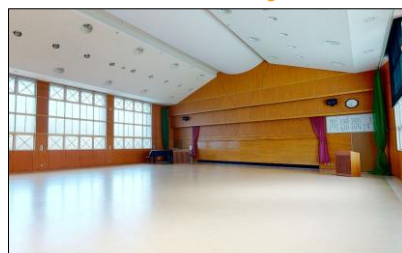
地域住民のニーズによる校舎の貸し出しと法人の研修会場

※地域への校舎貸し出し

地域住民の校舎を借りたいというニーズがあり、空手教室やフラダンスなどの各種イベント、選挙会場など地域の方々に校舎の貸し出しをしている。



ダンスホール



稽古ホール

※法人の研修会場としての活用

介護福祉士養成校としての学校設備を法人内の研修会場として有効活用。教室や調理実習室、介護実習室など実務におけるスキルアップの研修を行っている。



調理実習室



教室



実践による成果と効果①

※一定数の学生確保と留学生の質の維持

日本語学科を設立したことで、留学生が介護福祉学科へ進学することで学生数を一定数確保することができた。また日本語学科があることで、留学生の日本語能力の維持、向上に繋がっている。



※多様化する価値観に応える

学食カフェは学生以外にも一般の方々も利用でき、校舎も地域の方々に開放している。地域行事にも積極的に参加し、あらゆる年代や職業の多様な生活を送る住民の方々と触れ合うことができる。



※障がいの有無に関わらず

障がい児童を支援する事業所が敷地内にあることで「ノーマライゼーション」「インクルーシブ」の理念を理解できる。



実践による成果と効果②

※グローバルな視点

本校の在校生は、留学生が増えたことにより必然的に関わるが多くなり、留学生と一緒に普段から行動する学生たちは、自然とグローバルな視点と留学生との関わり方が身についている。



※全世代型福祉へ

実習などで高齢者の方と関わるだけでなく、学校が運営する「児童クラブ」「放課後等デイサービス」でのアルバイトや交流イベントなどで、児童と触れ合えることで、本校の中で児童から高齢者まで関わることで、全世代型福祉が実現できている。



※次の福祉の担い手の育成

児童クラブの子達に福祉を身近に感じてもらい将来の福祉の担い手の発掘に寄与している。



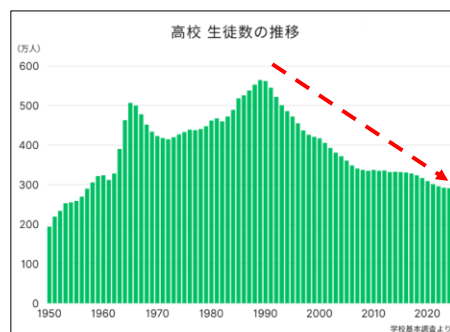


これからの課題

※右肩下がりの高校生と福祉養成校の魅力発信

田原市内での高校は3校あり福祉コースを有する学校もあるが、高校生の数が少なくなってきており、市内高校から本校への入学数が年々減少してきている。また渥美半島という立地で、田舎にある学校より、名古屋近郊の介護福祉士養成校へ流失してしまう生徒たちをどのように田原市の専門学校へ入学してもらえるように目を向けてもらうのが課題となっている。

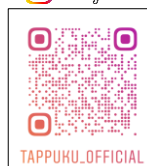
学生寮もリニューアルしながら他市からの学生でも入学しやすいことや、SNSを使って授業の様子などを発信したりしているが、日本人学生を確保するのは苦慮しており、これからも今以上に厳しくなることが予想される。



田原福祉グローバル専門学校
Tahara Global College of Welfare

TikTok

Instagram



課題とまとめ

※留学生の受入れと日本語能力の維持・向上

留学生の受け入れ先の国々の変化や入学時の日本語能力レベル低下が年々見受けられる。入国時のレベルから卒業までに求めている日本語レベルまで上達させるのが、苦労している。介護にはコミュニケーションは必須であり、高い日本語能力が求められるため専門学校としても妥協はしたくない。

※最後に

学校経営としては、附帯事業を充実させたことで赤字幅を減らせてはいるが、黒字化したわけではない。介護福祉学科の学生確保だけでは赤字解消にはならず、学費等の見直しも必要だが、学費が安く入学してくる学生も少なからずおり、値上げに踏み切れずにいる。日本人学生を定員の半数確保したいと思い、昨今の日本人学生確保の難しさと葛藤し、留学生数を増やすと日本人学生が確保しにくくなるのは学生募集をしている中で感じていることもあるが、学校経営を考えると日本人学生と留学生の入学割合（現在は半々）をいつまで継続していくのかは、今後の大きな課題である。